

令和3年度 事業報告書

令和3（2021）年10月1日から

令和4（2022）年9月30日まで

特定非営利活動法人マドレボニータ

1 事業の成果

①教室事業

- ・オンラインと対面両方で産前・産後ケア教室を開催し、コロナ禍でも産前産後ケアプログラムを継続的に提供した。
- ・昨年から引き続き受講者を対象にアンケート調査を実施し、コロナ禍における妊産婦の実態調査研究（③に記載）を実施した。
- ・対面教室の本格的な再開に伴い、産後ケアバトン制度（多胎児の母などの受講料補助、介助者謝礼など）にて、昨年の2.5倍となる46組を受け入れた。
- ・夫婦で参加できるオンライン講座形式の両親学級の普及に努め、40組75名が参加した。
- ・企業向け復職支援プログラムを改良し、4社に提供。175名が参加した。

②養成事業

- ・昨年度開講した全てオンラインで学べる養成スクールを今年度も開催した。
- ・2021年12月に「産後セルフケアインストラクター」コース4名、「ボールエクササイズ指導士コース」1名が誕生した。
- ・2022年1-3月に開講した養成スクールでは「産後セルフケアアドバイザー」11名が誕生した。
- ・産前産後女性の支援者向け栄養講座を開催した。
- ・2022年9月より秋期養成スクールを開講し、「産後セルフケアアドバイザー」コースを10名が受講中。

③研究開発事業

- ・マドレボニータ独自の調査研究「産後の身体とコロナ禍のパートナーシップについて」をまとめた「産後白書4」を2022年1月にWEB版として発行し、完成記念イベントを行った。
- ・「産後白書4」を冊子として印刷し、全国の自治体に配布し協働を推進する活動を行うため、クラウドファンディングを実施した。
- ・日本体育大学、大阪行岡医療大学と協力し、「コロナ禍における妊産婦の心身の健康状態とパートナーシップの実態」調査研究を実施した。
- ・会員と協力し産後ケアの啓発・普及の考察レポート「マドレジャーナル」をオンラインで1号発行した。

2 事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
産前・産後のボディケア&フィットネス教室事業	・対面とオンラインによる産後ケア教室、オンライン両親学級、各種教室の実施 ・多胎児の母やひとり親等の受講料を補助する産後ケアバトン制度の推進 ・自治体でのオンライン講座開催	令和3年10月～令和4年9月	全国	91人	妊娠中～産後の女性及び家族、一般市民1,726人	13,742

	<ul style="list-style-type: none"> ・企業での復職支援プログラムの推進 ・企業向け産前講座オンライン講座の販売 					
産前・産後セルフケアインストラクター養成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・養成スクール開催 ・産後セルフケアインストラクター4名、産後セルフケア指導士1名誕生 ・産後セルフケアアドバイザー11名誕生 ・オンライン講座の販売 ・支援者向け単発講座実施 ・認定インストラクター制度整備、研修の実施 	令和3年10月～令和4年9月	各受講者の居住地	27人	一般市民、認定インストラクター、産後セルフケアアドバイザー108人	1,714
産前・産後のボディケア&フィットネスプログラム研究開発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・日本体育大学・大阪行岡医療大学と協働したコロナ禍における妊産婦の心身の健康状態とパートナーシップ調査研究の実施 ・産後白書4発行 ・産後白書4普及を目的としたクラウドファンディングの実施 ・マドレジャーナルWEB版3号制作発行 ・産後ケアリーフレット配布 ・月刊メールマガジン発行 	令和3年10月～令和4年9月	全国	81人	一般市民 23,519人	1,310

(2)その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額
なし	なし	—	—	—	—